

活動の内省と目的設定#7

名前：ヘザー・オコネル **学校名：**キング小学校 **グループ名：**キングズ
活動日：2016年11月04日（金） **活動時間：**40分

今回、レッスンは教室で行われて、テーマは四季でした。4つの季節（秋、冬、春、夏）と6つの色（赤、オレンジ、黄色、緑、青、ピンク）の言葉を教えました。言葉を教える時に黒板とカードを使いました。黒板に両方英語と日本語で言葉を書きましたが、大きいカードの表に英語で書いて、裏に日本語で書きました。私達は黒板を使って言葉を教えた後で、カードを使って子供達に質問をしました。例えば、子供はカードの表を見たら、日本語で答えを言いました。逆に、カードの表を見たら、英語で答えを言いました。その後、3つのグループに分けて、言葉合わせのゲームをしました。小さいカードを使いました。小さいカードは、表に何も書いていませんが、裏に日本語か英語の言葉が書いてありました。ゲームをする時に、日本語のカードと英語のカードを合わせないと、ポイントをもらえませんでした。私のグループにいる子供はたくさん競争心を持っていました。ゲームの後で、子供達は着物の絵にマーカーで色と柄をつけました。私達は日本の有名な柄の例や出来上がった着物の絵を与えました。子供達が描いた着物はとてもユニークでした。

うまくいったことは言葉合わせのゲームでした。言葉を教える時にたくさん復習して、準備が良かったので、ゲームの時に子供達はスムーズにいけました。問題は着物の絵でした。私達が印刷した絵は女の着物のプリントしかなかったため、男の子が仲間はずれのような気持ちを感じたかもしれませんでした。確かに、女の着物の方は柄や色が多いですが、女の子も男の子も含めるために、男の着物のプリントを印刷すれば良かったです。「誰も外れないように皆を含める」という気持ちは「Community & Social Justice」というアウトカムにつながると思います。